

ともえ



函館商工会議所
創立
100周年



秋サケの捕獲（汐泊ふ化場）

No. **169** 函館商工会議所報
1995 — 11月号

のびゆく地元のお手伝い……

ゆたかな夢を大きく育てる。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀 田 支 店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中 道 支 店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上 磯 支 店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	え さん 支 店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111(代)
弁 天 支 店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七 飯 支 店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木 古 内 支 店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯 川 支 店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知 内 支 店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花 園 支 店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オート
ローン

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

視点

創立一〇〇周年記念事業

2 / 3

- ・のびゆくはこだて産業展
- ・ロボコン'95北海道地区大会

会議所のおこぎ

4 / 7

- ・サハリン特別委員会・国際交流委員会合同講演会／全道商工会議所専務理事・事務局長会議／経営安定セミナー／秋期情報処理技術者試験／青函ツインシティ推進協議会／議員懇話会／婦人会全道大会／函館・天津市民友好の翼

調査レポート

8 / 11

- ・地域の景気 金融経済概況九月
- ・函館地域の経済動向 七年度第2四半期
- ・市内第一種大規模小売店舗売上高 九月

共済推進コーナー

12

ティータイム

13

アドバイスコナー

14 / 15

- ・魅力ある店づくり・街づくり 最終回

Q & A

16 / 17

- ・みんなの相談室 税務・労務相談

インフォメーション

18 / 20



◇今月の表紙

今年もサケが帰ってきた。
 汐泊川のふ化場では捕獲採卵作業がピークを迎えている。従来の引き網の他に、昨年完成した魚道のおかげで捕獲作業はかどるようになったという。
 サケの卵は冬にふ化して、来年五月、再び長い旅に出る。

視点



去る十月十日から十二日までの三日間、市内駒場町JRAスポーツプラザにおいて、本所創立一〇〇周年記念事業である「のびゆくはこだて産業展」が開催された。

この種の催しは、久しぶりとあって関係者の注目を浴びたところであるが、出展企業四十社の参加をえて、開催された天候にも恵まれたが、連日多くの方々のご来場をいただき、延べ一万二千人となり、予想を超え大きな驚きであった。

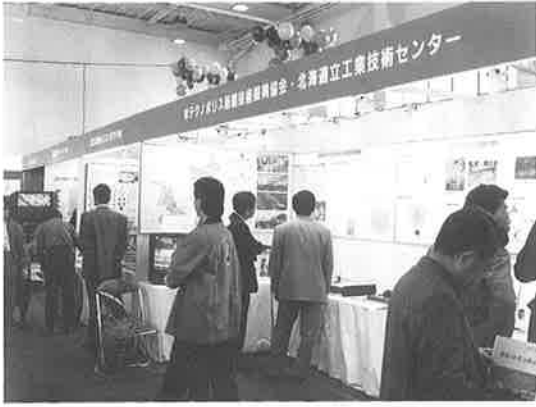
地域の方々に地元でどのような物が造られているか知ってもらうと同時に、地域の方々が何を望んでいるかを直接聞ける場をつくらうとの趣旨で開催したが、予想以上の関心をもっていることを実感したところである。

出展していただいた企業の方々、協賛いただいた方々にも深く感謝申し上げます。

この事業を通じて感じたことは、今後ともより多くの企業の参加をいただき、展示だけではなく商談、即売などできるような産業展をぜひ行ってみたいと思った。これは、多くの関係者の共通した考えではないだろうか。

最後に今回の会場を提供いただいた日本中央競馬会函館競馬場に対して心からお礼を申し上げます。

函館商工会議所創立100周年記念事業



本所創立一〇〇周年記念事業の一環として、去る十月十日から十二日迄の三日間、J R Aスポーツプラザ（函館競馬場体育館）を会場に「のびゆくはこだて産業展」が盛大に開催されました。

「同産業展」は、本所創立一〇〇周年を記念し「二十一世紀への飛躍と創造」をテーマに、地域の活性化と技術等を広く紹介する事を目的として、函館圏域を代表する四十企業・団体が出展し催されました。十月十日の初日は、午前九時四十五分から、開場を待ち切れない市民が長い行列を作る中、多数の関係者出席のもと開会式が行なわれました。式典では初めに松本会頭より主催者挨拶がなされ、来賓を代表し木戸浦市長より祝辞



の後、関係者によるテープカットと、開場を告げる花火の打ち上げがあり「のびゆくはこだて産業展」が華々しく開会しました。

会場には会期中普段地域の技術等を見る機会の少ない市民の方々が多数訪れ、三日間で延べ入場者数一万二千名余を数えました。

特に初日は祭日も重なり、六千三百名余の入場者で、会場は終日大変なにぎわいを見せました。

会期二日目（十一日）には、柏野小学校の児童百名が会場を訪れ、三班に分れて各ブースを見学、それぞれの担当者から説明を受け、熱心に聞き入っていました。

また、会期中イベント広場では、様々な催しが行なわれ、特に初日に行われた「わんこそば早喰い大

函館商工会議所創立100周年記念事業

おめでとうございます。産業展クイズ当選者

当選商品	ご芳名
グアム4日間の旅 (ペア2組4名様)	藤門 宏太様 安部 多美子様
函館～東京塔乗券 (ペア3組6名様)	中西 澄子様 石川 洋一様 平野 美子様
BS内蔵24型ワイドテレビ	佐々木 貞治様
和室用テーブル	佐分利 徳子様
ゴルフバッグ3点セット	和泉 孝弘様
HiFiビデオデッキ	大坂 久子様
空気清浄器(2名様)	高松 灌様 坂内 しのぶ様
安全装置付ガステーブル	古伯 直美様
ペーパーシュレッダー	西田 美香様
市内都市型ホテル宿泊券(ペア1組)	前田 稔様
コードレス電話機 (3名様)	本郷 寿子様 永田 政幸様 吉野 純子様



グアム旅行 ご当選の

藤門 宏太^(上)と
安部多美子^(下)さん



会」には、飛び入りでの参加を希望する人が本部に殺到するなど、大変な好評を博しました。さらに屋外展示、物販、たべものコーナーでも会期中好天に恵まれたこともありそれぞれ人を集め、物販コー

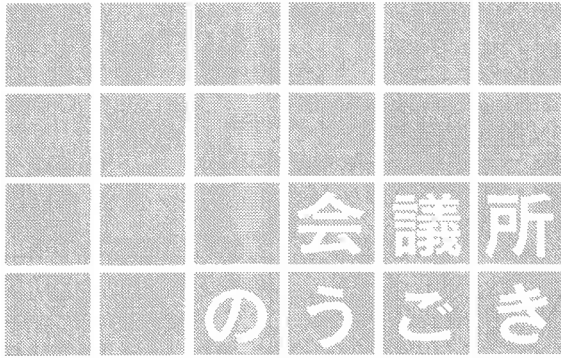
ナーでは用意した商品が売り切れ急遽追加補充するなどにぎわいを見せ、十二日午後四時、所期の目的を達成し、盛会裡のうちに三日間にわたる産業展を終了致しました。

ロボコン'95 高専部門 北海道 地区大会

学生の創造力と技術力が結集するアイデア対決ロボットコンテスト、通称「ロボコン」の高専部門北海道地区大会が去る十月二十二日、今年から大会を市民に広く公開しようという主旨のもと、函館市民体育館を会場に行われました。今年のロボコンのテーマは「ドリームタワー」というもので、高さ三メートルの塔に設けられた三段階の高さのゴールにボールをシュートし、総得点を競うものです。本大会では函館、苫小牧、札幌市立、旭川、釧路の五校から各二チームが参加し、計十チームでのトーナメント戦を行いました。各校ユニークなロボットで挑んだ試合では、突然故障するものや相手ゴールにシュートして自殺点



をとってしまいうハプニングもとび出すなど会場を沸かせました。大会の結果、釧路高専のブルドック号が優勝し、審査員推薦校として選ばれた函館高専ボルテックストライカー号と共に国技館で行われる全国大会に出場します。なお、競技の様子は十一月二十六日(日)午後一時半よりNHK総合テレビで放映されます。



対ロシア経済関係の見通しは？ 国際交流委・サハリン特別委で講演会

「ロシア極東地域の経済見通しと経済関係の今後」と題して去る十月六日、国際交流委員会とサハリン特別委員会の合同委員会として、(社)ロシア東欧貿易会の小川専務理事と(社)北海道地域総合研究所の荒井専務理事を講師に迎え、講演会を本所会議室において開催しました。

小川講師からは、極東地域では各種プロジェクトや太平洋沿岸諸国との経済交流に重点を置き、経済振興を進める中、特に、交通インフラ・港湾施設の整備進捗状況等について説明がありました。

荒井講師からは、サハリン大陸の天然ガス・石油開発プロジェクトに関する後方支援基地実現を目指す函館市にとって重要な生産物分与に関する法案が、十月三日のロシア議会で可決されなかったことから、今後の推移が注目されるとの報告があり、参加者は改めてロシア国内情勢について認識を深めました。

道商連専務理事・事務局長会議 旭川で開催

去る十月十六日、旭川市で北海道商工会議所連合会の第三十五回運営委員会及び第百六十二回専務理事・事務局長会議が開催されました。

議事項中央陳情経過報告や運営委員会決定された道商連ビジョンフォーアアップ委員会の新規・収益事業について報告がなされました。

専務理事・事務局長会議では、道商連堀北専務理事の挨拶に続き大同生命保険相互会社平野和男取締役社長から「過去と未来から見た人口問題」についての講話がなされました。次いで、事務局から第四十五回全道商工会議所大会決議事項中央要望並びに第三十回東北・北海道商工会議所連絡会議決

さらに、事務局から十一月二十七日に開催される常議員会、臨時会員総会の提出議案である役員改選、定款変更について説明がなされた後、各ブロック別役員・正副委員長の配分を協議しました。なお、今回の専務理事・事務局長会議は、明年一月に当地で開催することになりました。

中小企業よ こうして生き残れ！ 経営安定セミナー開催

平成七年度第二回目の経営安定特別セミナーが、去る十月十七日(火)本所会議室で開催され、約五十名の方が参加しました。

本所では、昭和四十八年より、中小企業の倒産防止のために「経営安定特別相談室」を設置し、商工調停士による個別相談の他、経営の安定に少しでも役立てて頂くとの趣旨から、その時代に即応した講演会、セミナー等を随時開催し、今まで多くの方に聴講頂いてきたところであります。

今回は、(株)ダイヤモンド社取締役第一雑誌事業部長の岩佐豊氏を講師にお招きし、「中小企業よ、こうして生き残れ！」をメインテーマに行なわれ、日本経済、経営環境が大きく変わろうとしている今日、新しい時代の経営の着眼点とは何か、またこれから時代の経営者に求められる絶対条件とは何か等について具体的事例をもとに説明がなされ、参加者は終始真剣な眼差しで聞き入っていました。

情報処理技術者試験

函館で初めて実施

函館で初の情報処理技術者試験（通産省認定の国家試験）が去る十月十五日、函館大学を会場に実施されました。

既報のとおり、本試験の道内での実施は、これまで札幌、帯広、旭川の三カ所だけでしたが、地元教育機関、産業界等の強い要望を受け、本所並びに函館市が関係機関へ働きかけたことにより、今秋より実現したものです。



当日は六区分の試験に約五百名が受験、それぞれ資格取得に挑みました。

特に秋期試験では、パソコンユーザーの技量に標準的基準を示す「システムアドミニストレータ」試験が実施されることから、情報処理技術の専門家を目指す方だけでなく、一般ユーザーの受験者が増加しており、また人材育成の観点から、企業からも大変注目されています。

今回の試験結果は十二月から来年一月にかけて発表されることになりませんが、本試験の地元での実施が、地域の情報化推進に弾みを付けることが期待されています。

また、今回の春期試験日程は次のとおりです。

◎試験日 平成八年四月二十一日

◎願書配布・受付期間 平成八年一月五日～二月八日

◎受験料 五千円

◎問い合わせ先 本所指導課

「青函ワイン」製品化へ！ 青函ツインシティ推進協議会開催

平成七年度青森・函館ツインシティ推進協議会が、去る十月三十一日、ホテル函館ロイヤルを会場に、木戸浦函館市長、本所松本会頭など青函両市の関係者が多数出席して開催されました。

青函ツインシティ提携に伴い同協議会として平成元年度に最初に交流事業を策定してから七年を経過し、多くのツイン交流が着実に

拡がりをみせており、この度、八年度からの三カ年計画について協議を行いました。

会議では、経済、観光、文化、スポーツ等幅広い分野で百三十の交流事業を推進していくことになりました。

また、平成四年から両市及び姉妹はこだてわいんが一体となって取り組んできた「(仮称)青函ツイン



シティワイン」が製品化されることから、そのネーミングの最終選考会も合わせて行われました。

これは、青森市内で栽培されている黒房すぐり(仏語：カシス)を原料として醸造されるワインで、青函ブランド第一号の商品となります。

選考の結果、最優秀作品として「青函ワイン」、優秀作品には、「すぐりの詩」、「青函すぐりワイン」の二点を選ばれ、十二月上旬には限定発売されることになりました。

21世紀の経済課題をテーマに

議員懇話会開催

去る、十月十六日函館パークホテルに於いて、本所議員で構成する議員会（会長飯田貢一氏）主催による議員懇話会が、三十六名の議員が出席のもと開催されました。始めに、当日の講師である日本銀行函館支店支店長、木村史曉氏より『日本経済二十一世紀の課題』と題して、景気の現状、生産・在庫動向、国際収支動向と為替相場、雇用情勢等についての講話がなされました。引続き行われた懇親会では議員相互の親睦交流をより一層深め終始なごやかなうちに終了しました。



全道から三百名が参加 苫小牧で婦人会全道大会

平成七年十月六日、苫小牧市に於いて、商工会議所婦人会全道大会の正副会長会議をはじめ、総会、懇親会等が相次いで開催され、全

道婦人会から約三百名が一堂に会し、当婦人会からは、正副会長他十八名が出席しました。

総会では、環境・ゴミ問題対策

推進、北海道新幹線の建設促進、北海道の空港並びに航空網の整備促進、高齢化・少子化社会に対応した施策の推進、地域開発・地域活性化対策の推進の五項目について協議が行われ、いずれも満場一致で承認可決され、後日中央陳情を行うことになりました。さらに次期開催地については、道央ブロックで開催する事を決定しました。また、各地婦人会の活動では、道南ブロックを代表して、当婦人会の島崎副会長より函館の活動状況について報告が行われました。引続き行われた懇親会では、全道の婦人会会員相互の交流が行われ盛會裡に終了しました。



直行便就航へ向けて

函館・天津市民友好の翼

十月十三日から十八日までの日程で、函館中国経済促進協会会長である本所小笠原副会長を団長に百三十八名がチャーター便を利用して中国を訪問しました。

今回の訪中では、函館中国経済促進協会と中国国際貿易促進委員会天津分会との協力意向書調印式のほか、市民交流を通じ将来的には、函館と天津の間に直行便を就航させることについて中国民用航空総局等との意見交換や、両市の小・中学校との絵・書道の作品交換などが行われました。





事務局日誌

10月

*正副会頭会議

- 9(月) 第26回正副会頭会議
- 30(月) 第27回正副会頭会議

*委員会

- 6(金) 国際交流委員会・サハリン特別委員会合同委員会
「対ロシア経済交流に関する講演会」

*会議(日商)

- 19(木) 第441回常議員会

*会議(道商連)

- 16(月) 第35回運営委員会
第162回全道商工会議所専務理事・事務局長会議
- 25(水) 「PL保険制度」担当者会議

*会議(ブロック)

- 25(水) 道南商工会議所連絡協議会

*審査会

- 25(水) 第7回小企業等経営改善資金審査会

*語会議

- 2(月) '95タックスフェア実行委員会
函館税務署広報連絡協議会
- 3(火) 平成7年度青森・函館ツインシティ推進協議会部会
情報処理技術者試験委員研修会
平成7年度労働保険事務組合ブロック別研修会
平成7年度小企業等経営改善資金貸付推薦団体経営指導員
連絡協議会
- 4(水) 北海道コミュニティー航空推進協議会平成7年度総会
第22回湯の川温泉街活性化推進懇談会
- 5(木) 多目的スタジアム建設についての懇談会
- 6(金) 函館地域雇用協議会
第12回商工会議所婦人会全道大会正副会長会議本大会
各地活動報告記念講演
- 11(水) 北海道新幹線建設促進期成会平成7年度第2回幹事会
第3回函館市生涯学習推進基本構想策定委員会
函館港・函館空港衛生管理運営協議会臨時総会
- 12(木) 函館空港連絡協議会
- 16(月) 平成7年度分野調整指導調査員連絡会議
議員会議員懇話会
- 17(火) '96はこだて冬フェスティバル打合わせ
- 18(水) 所報「ともえ」編集会議
- 20(金) 渡島支庁管内市町村長と商工会長会議
1995年度第6回函館夜景の日実行委員会
- 24(火) 中小企業事業団平成7年度団体職員研修課程
経営指導員研修専門研修「街づくりのための商業活性化」
- 25(水) 北海道開発幹線自動車道建設促進期成会「全国高速自動車
国道建設協議会臨時理事会」
「いかの街はこだて」キャンペーン実行委員会
- 26(木) '96はこだて冬フェスティバル三者会議
- 27(金) 函館地域技能振興推進協議会
平成7年度第2回振興委員連絡会議
- 31(火) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会常任幹事会
'95タックスフェア書道展審査
平成7年度青森・函館ツインシティ推進協議会

*講習・催物

- 4(水) 1995年度北海道工業大学「社会人技術者のためのHITオー
ブンキャンパス」移動公開セミナー

- 11(水) 経営相談
- 12(木) 第41回函館地方児童生徒発明ふよう展(～10/17)
- 17(火) 経営安定特別セミナー「中小企業よ、こうして生き残れ」
- 18(水) 平成7年度大学研究内容説明会
中小企業相談所移動相談室
- 20(金) 日本経済新聞社「日経流通セミナー」
北東公庫第3回地域開発フォーラム
平成7年度ロボットコンテスト北海道地区大会(～10/22)

- 24(火) 金融説明会
- 25(水) 第15回みんなの消費生活展(～10/30)
- 26(木) 青色申告者のための現金出納帳記帳方法セミナー
- 27(金) 法律相談

*刊行物

- 11(水) 所報「ともえ」10月号 No168

*相談・診断

- 金融 86 税務 18 経理 4 経営 21
労働 0 取引 0 その他 1 合計 130

*貸室

- 13

*文書受信

- 235 発信 26

*検定・大会

- 1(日) 第16回2級ワープロ技能検定試験
- 4(水) 第23回2級小売商(販売士)検定試験
- 15(日) 平成7年度秋期情報処理技術者試験
- 16(月) 第3回キーボード操作技能認定試験(キータッチ2000テスト)
(～10/17)
- 22(日) 第145回珠算能力検定試験

*陳情・要望

- 19(水) 丘珠空港の早期整備に関する陳情
- 25(水) 北海道開発幹線自動車道建設促進期成会
「高速道路整備促進全国総決起大会」

*慶弔・その他

- 1(日) ホテルJALシティ函館オープニングレセプション
- 2(月) (協)日専連札幌会副理事長岩井札幌商工会議所議員他表敬
訪問
- 7(土) 函館中央卸売市場開設20周年記念大会、祝賀会
- 8(日) 函館自由市場(協)創立50周年法人化25周年記念式典・祝賀会
- 10(火) 創立100周年記念事業のびゆくはこだて産業展オープニング
セレモニー
- 12(水) 三菱カープラザ大野新道新社屋落成式
- 13(金) 函館・天津市民友好の翼(～10/18)
- 17(火) 千代田生命保険(相)生命共済キャンペーン出陣式
- 18(水) (株)ホテル函館ロイヤル創立30周年記念祝賀会
(財)川崎市産業振興財団函館マルチメディア推進協議会視
察来所
- 21(土) 北海道函館盲学校・聾学校創立100周年記念式典・祝賀会
- 22(日) 平成7年度北海道地区高等専門学校ロボットコンテスト懇
談会
- 23(月) 高木正明国會議員北海道・沖繩開発庁長官就任を祝う会
- 25(水) (株)クロフォード講演会「21世紀に向けた事業の展開」
- 26(木) 函館繊維商組合清遊会
滝川商工会議所中小企業人材育成推進委員会視察懇談
四共済ゴルフコンペ
函館どっく(株)SNO760(24,200MTD型撤積貨物船)進水式
通産省等創立100周年事業生涯学習シンポジウム終了お礼
挨拶
- 27(金) (社)北海道観光連盟第18回北海道観光大会
北海道貿易経済交流課片岡参事、大谷主査来所
- 28(土) (株)北松山町観光振興公社「温泉ホテルきたひやま」落成
記念式典・祝賀会
北海道地方軟式野球連盟創立50周年記念式典・祝賀会
- 29(日) 平成7年度第9回研修会「ボランティアの集い」

館市周辺で民需が好調に推移していることから、引続き高水準の出荷となっている。一方、段ボールでは、これまで出荷の遅れていた青果物に幾分動意がみられたものの、加工食品向け出荷の減少から依然として低水準の生産となっている。また、合板は、過剰在庫の圧縮を狙って生産水準を引下げている。漁網は、低調な需要動向を背景に、依然として抑制的な生産を余儀なくされている

(4) 建設関連

9月の管内公共工事請負額は、前年比マイナス26.7%と2カ月連続して前年を下回ったものの、なお高水準で推移している。また、9月の函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数は、持家の増加を主因に前年比プラス19.9%と6カ月振りに前年を上回ったが、依然として頭打ち傾向を脱していない。

(5) 農業・漁業

農業では、水稻は松山の一部で冠水による品質の低下がみられたが、収穫作業は平年並みに終了。また、馬鈴薯等主要農産物は8月中旬以降の降雨により作物の小玉化や腐敗等の品質低下がみられ、収穫もやや遅れている。漁業では盛漁期である近海真イカ漁が天候不順や海水温の影響等から依然として低調な水揚げとなっているほか、渡島管内コンブ漁も、足許の生産は昨年を下回っている。一方、漁期入りした秋サケ漁は水揚げ量、金額とも前年を大幅に上回っている。

(6) 消費関連

9月の市内大型小売店の売上高は、主力の秋・冬物衣料がシーズン入り後の気温低下もあって、順調な売行きを示したことから、全体では前年比プラス1.5%と9カ月振りに前年

を上回った。家電販売ではパソコン、ファックス等情報家電は引続き好調に推移したものの、冷蔵庫、洗濯機等白物家電の売行きが一般傾向にあるほか、暖房器具の販売もやや伸び悩んでいる。また、9月の新車登録台数は、普通車が新車投入効果等もあり前年を上回ったが、主力の小型車が低調に推移したことから、全体では、前年比マイナス9.3%と前年を1割方下回った。この間、観光・レジャー面をみると、9月入り後、一部宿泊施設等が例年比早めの価格引下げに踏み切ったことから、月後半は観光客の入込みがやや持直したものの、団体客を中心に全般的に動きが鈍く、主要ホテル宿泊客数は前年比マイナス2.7%と前年を下回った。

3.金融事情(9月中)

実質預金は、一部企業での金融収支の改善を企図した預貸相殺がみられたものの、全体としては流動性を中心に引続き堅調に推移した。また、貸出は前向きな資金需要に依然として動意が窺われないものの、住宅関連資金や車両購入資金といった小口資金等が散見されたほか、政府系金融機関からの肩代わりもあって前年比プラス4.8%と引続き前年を上回った。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、長期、短期金利とも低下し、全体では月中マイナス0.113%の低下となった。

銀行券は、月中38億円の還収超と前年(同80億円の還収超)を下回った。

財政収支は、郵便局の受入れ減少を主因に、月中177億円の受超と前年(同188億円の受超)を下回った。

データーをチェック!

高等学校では99.9%がパソコンを導入

～学校へのOA機器の普及～

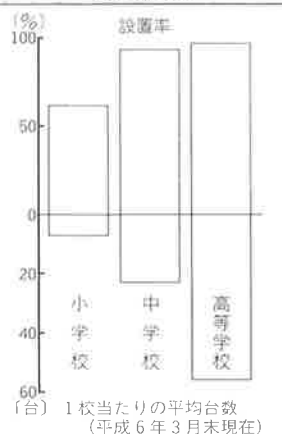
地方公共団体や家庭にパソコンが普及している現在、学校での設置状況はどうなっているのでしょうか。

平成6年3月末でパソコンを設置している学校の割合は、小学校が66.1%であるのに対し、中学校が98.4%、高等学校では99.9%と、ほとんどの学校がパソコンを導入しています。一校当たりの平均設置台数をみると、小学校は5.3台と少ないものの、中学校では2.21台、高等学校では1クラスの生徒数よりも多い53.7台となっています。

一方、パソコンを操作することのできる教員の割合は、小学校で34.1%、中学校で44.0%、高等学校では41.8%——約3分の1から半数が操作できるとこたえています。

パソコンの設置率、台数、そして操作できる教員の数など、それぞれが年々増えていることから、基礎的な情報処理機能の整備や子どもたちの指導・育成のための地盤づくりが、OA機器の導入とともに進んでいることが分かります。

学校でのパソコン普及状態



地域の景気

金融経済 概況 9月

(平成7年10月31日)

日本銀行函館支店

1. 概況

管内経済をみると、金利の一段低下、円高修正、株価の持直し傾向、さらには9月20日に打出された政府の経済対策の効果への期待感から、企業マインドは夏場に比べ幾分落ち着いているものの、需要自体は依然として盛り上りを欠く状態にある。すなわち需要項目別にみると、公共投資はなお高水準にあるものの、住宅投資が頭打ち傾向を示しているほか、個人消費も総じてみれば一服状態を続けている。また、設備投資にも動意は窺われない。

製造業では、半導体が旺盛なパソコン需要を背景に、また、セメントは国内外の需要好調から、フル生産を継続している。造船では、新造船・産業機械・橋梁各部門とも高操業を続けている。漁業機械も輸出の好調に支えられて高水準の生産を保持している。製缶機械では豊富な受注残を背景に、生産水準を上げている。これらの高操業先では、残業増や外注の拡大、パート増員等により対応している。

これに対し、水晶発振器では、国内メーカー各社の増産に伴い受注競争が激化しており、新規受注が伸び悩んでいることから、生産水準を下げている。また、合板機械でも、抑制的な生産を続けている。水産加工品は、乾燥珍味の一部に製品価格引上げを前に駆け込み需要がみられたが、総じて売上は低調に推移しており、水産加工機械の受注、生産も依然低水準となっている。

非製造業をみると、9月の市内大型小売店の売上は、シーズン入り後の秋・冬物衣料の売行き好調を主因に9カ月ぶりに前年を上回った。耐久消費財では、パソコン等情報家電は引き続き順調な売行きを示したものの、冷蔵庫等白物家電の販売はやや低調に推移している。また、9月の新車登録台数は主力の小型車の売行き不振から前年を1割方下回った。こうした中、観光動向をみると、9月中は後半にかけて観光客の入込みが幾分持直したものの、依然として団体客を中心に動きが鈍く、

宿泊施設の利用客数は前年を下回っている。

農業では、水稻は平年並みに収穫を終えたが、馬鈴薯等農作物では一部で降雨による品質の低下等がみられているほか、収穫もやや遅れている。漁業では、天候不順の影響等から近海真イカ漁が依然として低調な水揚げとなっているほか、出荷の最盛期を迎えている渡鳥管内コンブ漁も前年を下回る生産となっている。一方、漁期入りした秋サケ漁は前年を大幅に上回る水揚げとなっている。

9月の金融動向をみると、預金は堅調な動きを続けたほか、貸出も引続き前年を上回って推移した。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は引続き低下した。

2. 主要業種別動向

(1) 機械、電子部品

半導体は、新型パソコンソフトの販売開始を控え各社が半導体調達を積極化していること等からフル生産を継続している。造船では、造船部門で高操業を続けているほか、橋梁部門でも、阪神大震災関連案件の生産本格化に伴い、フル操業の状態にある。漁業機械では、真イカ漁の漁期入りから国内向けは一服しているものの、中国、韓国、台湾等アジア向け輸出の好調に支えられて高水準の生産を継続している。また、製缶機械は、新開発機種に対する豊富な受注残を抱え、年末に向け生産水準を上げる方向にある。

一方、これまで高操業を続けてきた水晶発振器では、海外への生産シフトや国内メーカー各社との受注競争激化に伴い、新規受注が減少傾向となっており、生産水準をさらに下げている。また、合板機械では、合板メーカーの設備投資に動意が窺われないことから抑制的な生産スタンスを余儀なくされている。水産加工機械では、一部新製品への引き合いはみられるものの、イカ漁の不振や水産加工業者の業況不芳を背景に低水準の生産に止まっている。

(2) 食料品

水産加工品の売上をみると、乾燥珍味では、各メーカーが目先の需要期入りを睨んで原料価格の高騰等を理由に製品価格引上げの動きを示したため、一部に駆け込み需要がみられた。また、生鮮珍味では低価格品の売行きは順調ながら、全体では前年を下回っている。魚油は、穀物相場高騰などの影響から油脂市況が強含みとなるなか、食料品を中心とした堅調な需要に支えられ引続き順調な生産となっている。こうした中、国内の原料不足等に対応して原料魚油の輸入依存度を一段と高めつつある。

(3) その他製造業

セメントは、道内向け官公需の堅調持続に加え、台湾など海外からの引合いも引続き根強いことから、ほぼフル生産の状態を継続している。生コンは、公共工事向けのほか、函